

第1日目 9月14日（土） 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00		
9:20		〈気候〉 202 鈴木信康*（筑波大・院）・日下博幸 （筑波大）：東海～南関東で発生する 収束線の降水特性
9:40		203 工藤達貴*（筑波大・院）・日下博幸 （筑波大）：秋田県で吹く局地風「生 保内だし」はなぜ「宝風」と呼ばれる のか？
10:00		204 仙石和正*（筑波大・院）・高橋日出男 （都立大）：関東平野で発達する「寒 気せき止め現象」の大気構造の多様性
10:20		205 今枝侑香*（鳥取環境大・学）・重田祥 範（鳥取環境大）：局地風“由良川あ らし”の風速と水平気圧傾度の関係性 一肱川あらしとの比較
10:40		206 岩永博之*（東京電力ホールディング ス）・重田祥範（鳥取環境大）：尾瀬 国立公園における冬期平均気温の経年 変化―尾瀬山ノ鼻地区における気象観 測結果
11:00		207 重田祥範*（鳥取環境大）・岩永博之 （東京電力ホールディングス）：厳冬の 尾瀬ヶ原に出現する氷点下20℃以下の冷 気湖―現地観測から見えた極端な放射冷 却
11:20		208 中川清隆（立正大）：地表面日射量・ 温度日変化の取扱におけるミランコ ビッチの影響
11:40		209 一ノ瀬俊明*（国立環境研）・潘 毅 （筑波大・院）：大規模緑地公園再開 発計画の屋外温熱環境影響評価
12:00	昼 休 み	

第1日目 9月14日（土） 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
		9:00
		9:20
		9:40
<p>〈地形〉</p> <p>304 熊原康博（広島大）ほか：ネパールで実施したプレート境界断層の剥ぎ取り標本に関する企画展の開催とその意義</p> <p>305 中田 高（広島大・名誉）ほか：ウランバートル断層南東部Bumbat周辺の岩塊流を切る低断層崖</p> <p>306 後藤秀昭*（広島大）・渡辺満久（東洋大）：能登半島北岸沖の海底活断層と地震断層—反射探査に偏った断層認定の問題と海底地形検討の必要性</p> <p>307 菅 浩伸（九州大）ほか：能登半島北岸沖の海底地形—マルチビーム測深と潜水調査による変動地形調査</p> <p>308 高井静霞（日本原子力研究開発機構）ほか：上北沿岸を事例とした最終氷期—間氷期サイクルの地形変化評価モデル構築</p> <p>309 高波紳太郎（明治大）：関東平野における窪地の分布</p>	<p>〈歴史・文化〉</p> <p>404 古閑大樹（京都女子大・非常勤）：岡山県の地租改正の展開と地籍図—和算家の活躍と他府県への影響に注目して</p> <p>405 岩井優祈*（学振PD・日本大）・村山祐司（筑波大・名誉）：『測量日記』からみた伊能隊による測量事業の実相</p> <p>406 田中 圭（日本大）：石橋供養塔から復元する埼玉県坂戸市の交通環境</p> <p>407 林 哲志（愛知県立成章高）：渥美半島旧伊良湖村における「移轉料」からみた集落の特徴</p> <p>408 木村美桜（奈良大・院）：近世鳥取城下町の都市構造と災害</p> <p>409 高橋徹大（京都大・院）：木曾川三派川地区における堤外地集落の存続メカニズム</p>	<p style="text-align: center;">10:00</p> <p style="text-align: center;">10:20</p> <p style="text-align: center;">10:40</p> <p style="text-align: center;">11:00</p> <p style="text-align: center;">11:20</p> <p style="text-align: center;">11:40</p>
<p>昼 休 み</p>		<p>12:00</p>

第1日目 9月14日（土） 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
9:00		
9:20		
9:40		
10:00		〈経済・産業〉 604 笠原茂樹（日本大・院）：美濃焼産地における陶磁器産業の存立基盤の変化と経営対応
10:20	〈地理教育〉 505 淵上瞬平（東海中・高）ほか：展望台からの地理掌握とその批判的検討	605 曾我部千洋（東京大・院）：イノベーションの空間的変容と近接性に関する一考察—福井県の繊維産業とその支援体制に着目して
10:40	506 香川貴志（京都教育大）：世代の違いからみた日本地理学会会員の関心分野の特徴	606 藤本典嗣（大阪経済大）：原子力発電所の立地地域・建設中止地域における圏域人口比較
11:00	507 山内啓之（立命館大）：生徒・学生を対象とした「地理」の好感度に関する予察的調査	607 森本陽日（東京農業大・学）ほか：エコフィード製造業における原料調達・製品販売の取引関係
11:20	508 今井英文（山陽学園大・非常勤）：学習指導要領における地歴連携の記述に関する考察—中学校，高等学校について	608 山本陽子（東京農業大・院）ほか：フランスの消費者による味噌の意味付けと受容
11:40	509 久保哲成（神戸学院大・非常勤）：高等学校「地理A・地理総合」記載の「景观写真読み取り」技能習得設問の分析	609 小野塚仁海（北海道立総合研究機構）：北海道農村部における食料品アクセスの時空間構造
12:00	昼 休 み	

第1日目 9月14日（土） 午後

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
<p>シンポジウム 1（公開）</p> <p>世界地誌学習の新たな方向性 —東南アジア・オセアニア—</p> <p>〔オーガナイザー〕 田部俊充（日本女子大）</p> <p>開始時刻 13:00</p>	<p>〈気候〉</p> <p>211 中村祐輔（筑波大）ほか：自己組織化マップを用いた新たな都市街区分類の試み</p> <p>212 堅田元喜（キヤノングローバル戦略研）ほか：区内観測資料を用いた過去100年間の日本の農村部における気温の長期変動の復元</p> <p>213 平間千尋（茨城大・学）ほか：我が国における都市化昇温がソメイヨシノの生物季節に及ぼす影響の評価</p> <p>214 三上岳彦（都立大・名誉）ほか：日本の冬春季・気温変動に見られる階段状の温暖化と結氷・植物季節への影響</p> <p>215 加藤内蔵進（岡山大・名誉）ほか：季節サイクルの中でみたドイツ付近の春・5月の気候と歌（異質な他者との出会いを促す大学での学際的な授業開発へ向けて）</p> <p>216 坂本玲奈（筑波大・院）ほか：日本の冬季気温と熱帯・中高緯度のテレコネクション指数との統計的關係—地域別の特徴に着目して</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>
<p>S101 〔趣旨説明〕 13:00～13:15 田部俊充（日本女子大）：世界地誌学習の新たな方向性—東南アジア・オセアニア</p> <p>S102 13:15～13:30 井田仁康（筑波大・名誉）：世界地誌学習における考察のプロセス—東南アジア・オセアニア</p> <p>S103 13:30～13:45 菊地俊夫（都立大・名誉）：世界地誌学習における比較地誌の可能性とその魅力—オセアニア地誌の事例を通じて</p> <p>S104 13:45～14:00 堤 純（筑波大）：経済的に一体化する東南アジアとオセアニア</p> <p>S105 14:00～14:15 田和正孝（関西学院大・名誉）：マレー半島西海岸における小規模漁村の漁業地誌</p> <p>S106 14:15～14:30 高木 優（神戸大学附属中等教育学校）：中学校社会科・地理総合・地理探究と東南アジア・オセアニア理解の課題</p> <p>〔休憩〕 14:30～14:45</p> <p>〔総合討論〕 14:45～15:20</p> <p>S107 〔コメント〕 15:25～15:35 山本政一郎（福井県文書館）：コメント：東南アジア・オセアニア地誌学習の意義</p> <p>S108 〔総括〕 15:35～15:45 鈴木 允（横浜国立大）：総括：新しい世界地誌学習の方向性</p> <p>15:45～16:00 おわりに・次回の予告</p> <p>終了時刻 16:00</p>	<p style="text-align: center;">第2会場</p> <p style="text-align: center;">15:30～17:00 吉野賞受賞記念講演</p> <p style="text-align: center;">(17:00～18:00 ポスター発表者による説明)</p>	

第1日目 9月14日 (土) 午後

開始時刻	第 3 会 場	第 4 会 場
13:00	(地形) 311 大上隆史 (産総研) ほか: 熊本市池上地区における完新世の堆積環境変化	(歴史・文化) 411 小竹尊晴 (東京地区研究社) : 苗字分布にみる同族関係の地域差とその歴史的要因
13:20	312 黒木貴一* (関西大)・品川俊介 (土木研) : 鬼怒川堤防の微小な地形変化の判読と剰余地図の特性	412 中島柚宇 (名古屋大・院) : 移動する現代猟師—瀬戸内海島嶼部における遠征巻き狩り猟の事例
13:40	313 小田原泰志 (南山大・院) ほか: 集水域からの土砂流出がマングローブ分布域に与える影響—全球平均速度と同程度の海面上昇が進む西表島の事例	413 中條暁仁 (静岡大) : 過疎山村における寺院の消滅と地域社会の対応
14:00	314 山本あゆ夏* (名古屋大・院)・齋藤仁 (名古屋大) : 石垣島・西表島における赤土流出の陸域環境要因とその空間的差異	414 渡邊洋心 (大阪公立大・院) : 現代四国遍路の巡拝経験にみる宗教空間の特性
14:20	315 Chakraborty, Abhik (和歌山大) : 北アルプスにおける動的な自然環境と観光登山の矛盾について	415 麻生 将 (二松学舎大) : 1916年から1940年の満洲におけるプロテスタント教会の立地と牧師の人事異動
14:40		
15:00		
15:20		
15:40		
16:00	第2会場	
16:20	15:30~17:00 吉野賞受賞記念講演	
16:40	(17:00~18:00 ポスター発表者による説明)	
17:00		

第1日目 9月14日 (土) 午後

第 5 会 場	第 6 会 場	開始時刻
<p>(人口・行動)</p> <p>511 住吉康大(東京大)：日本における移動生活への政策的期待と社会での受容—移動する人々はどのように描かれてきたのか</p> <p>512 佐藤英人*(高崎経済大)・中村広幸(芝浦工業大)：多拠点居住者の居住地選好と拠点間の関係—東京・横浜・川崎在住者を対象として</p> <p>513 木下礼子：中山間地に居住する高齢女性の抗移動性に関する考察—長野県飯田市における事例</p> <p>514 桂川健人(東北大・院)ほか：大都市圏から地方へのライフスタイル移住者の幸福感に影響する要因—八丈町と鶴居村におけるインタビュー調査分析</p> <p>515 東 大陽(立教大・院)：関係人口としてのクラインガルテン利用者—松本市奈川地区を事例に</p>	<p>(地域計画・地域政策)</p> <p>611 橋爪孝介*(アスノミヤ研)・渡邊瑛季(帝京大)：基礎自治体の政策形成におけるGISの役割の変化—宇都宮市役所アスノミヤ研究所の20年</p> <p>612 佐藤 洋(桃山学院大)：地理学的視点に立った地方財政研究の定位に向けて—大都市圏郊外の税負担と再分配に着目して</p> <p>(都市・交通)</p> <p>613 吉井 潤(図書館総合研究所)：山梨県における図書館と書店の連携</p> <p>614 櫛引素夫*・金 仙熙(青森大)：JR津軽線の試練(第3報) 一部分廢線決定とNPO法人等による運営の行方</p> <p>615 任 海(日本大)：上海市における土地有償利用制度の変化</p> <p>616 松尾卓磨(茨城大)：国土交通省「不動産情報ライブラリ」を活用した不動産市場の分析—2010年代以降の京都市の動向に着目して</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>
<p>第2会場</p> <p>15:30～17:00 吉野賞受賞記念講演</p> <p>(17:00～18:00 ポスター発表者による説明)</p>		

第2日目 9月15日（日） 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00	シンポジウム2 20世紀前半の東アジア海域における 海上交通の発達と沿岸地域の動向	
9:20	[オーガナイザー] 中西僚太郎 (筑波大) 開始時刻 9:00	(水文) 232 齋藤栄佑 (大日本ダイヤコンサルタント) ほか：地下水流水音の周波数特性—半乾燥草原地帯を事例に
9:40	[趣旨説明] 9:00～9:05 中西僚太郎 (筑波大) S201 9:05～9:21 三木理史 (奈良大)：港湾都市小樽の 形成と海陸輸送網	233 工藤駿之介 (日本地下水開発) ほか： 遊牧民の洗濯排水による地域水環境汚 染の現状
10:00	S202 9:21～9:37 河原典史 (立命館大)：植民地期朝鮮 における缶詰製造業—竹中缶詰製造所 を中心に	234 林 武司 (秋田大) ほか：地盤標高モ デルと現地調査に基づくメコンデルタ 西部の水循環の検討
10:20	S203 9:37～9:53 中西僚太郎 (筑波大)：明治・大正期 の門司港を経由する汽船と輸入品の動 向—対中国・台湾貿易の砂糖・畜産物 の輸入に着目して	235 稲岡 諄 (京大・院) ほか：芦生研 究林上谷支流の降雨流出に地質条件が 及ぼす影響
10:40	S204 9:53～10:09 天野宏司 (駿河台大)：戦前期・郵便 線路の復原—日本と海外を結ぶ郵便線 路と植民地の拡大	236 小田理人* (千葉大・院)・小寺浩二 (法政大)：東京近郊大河川支流の流 域特性の把握—多摩川水系浅川と荒川 水系市野川の比較から
11:00	S205 10:09～10:25 山根 拓 (富山大)：20世紀前半期に おける環日本海域世界の構造—港湾都 市の観点から	237 花田心吾 (駒澤大・院)：遠賀川流域 の河川水の水質組成の特徴
11:20	[休憩] 10:25～10:35 [コメント] 10:35～10:55 品田光春 (東北学院大) 山元貴継 (琉球大)	238 森本洋一 (法政大・非常勤)：利根川 支流赤谷川上流部の水質について
11:40	[総合討論] 10:55～11:40 終了時刻 11:40	239 小寺浩二 (法政大) ほか：トルコ・イ スタンブールの水環境に関する水文地 理的予察研究 (1) —2023年12月の 調査結果を中心に
12:00	昼 休 み	

第2日目 9月15日（日） 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
		9:00
<p>〈災害〉</p> <p>332 三浦エリカ*（早稲田大・院）・久保純子（早稲田大）：神奈川県横須賀市における自然災害の各種リスクと住民の避難に関する課題</p> <p>333 高田優太（駒澤大・院）：和歌山県串本町における津波避難困難区域の特性</p>		9:20
		9:40
<p>334 塩崎大輔*（星槎道都大）・橋本雄一（北海道大）：GPSを用いた非日常空間における避難行動分析</p> <p>335 森 康平*（兵庫教育大連合大学院・院）・山縣耕太郎（上越教育大）：津波常襲地域の児童における地震災害に関する知識獲得の状況とその課題</p> <p>336 坪井塑太郎*（帝京大）・菅 磨志保（関西大）：複合災害による建物被害と被災者支援に関する研究—2018年・大阪府北部地震における茨木市を事例として</p> <p>337 池田真幸*・大角恒雄（防災科学技術研）：2016年熊本地震を経験した熊本城宇土櫓の耐震性に関する地理的一考察</p> <p>338 岩船昌起（鹿児島大）：鹿児島市における直近十年での桜島火山対策の検証の試み</p> <p>339 宮本真二（岡山理科大）ほか：アジア・モンスーン地域における災害履歴の共通性とグローバル問題群の展開</p>	<p>〈政治・社会〉</p> <p>434 廣瀬俊介（東京大・協力研究員）：地方自治権と生態系サービス—沖縄県への在日米軍基地の集中とその環境影響に対する問題意識に基づく考察</p> <p>435 重永 瞬（京都市大・院）：近代東京における露店と「時間の政治」</p> <p>436 中澤高志（明治大）：高度成長期の神奈川県における内職補導事業と内職者—「レジャー内職」という表象をめぐって</p> <p>437 嵯 宸（東京大・院）：サブ・エスニック集団の形成と宗教施設に基づく統合—横浜中華街を事例に</p> <p>438 福山一茂（京都市大・院）：非大都市圏におけるベトナム人定住の経緯—宮崎県における事業所経営者を事例に</p> <p>439 横山百恵（鳥取環境大・学）：公共的空間と私的空間の境界線—成人映画館を事例に</p>	10:00
		10:20
		10:40
		11:00
		11:20
		11:40
		12:00
<p>昼 休 み</p>		

第2日目 9月15日（日） 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
9:00		
9:20		<p>〈地理思想・方法論〉</p> <p>632 立岡裕士（鳴門教育大）：山鹿文庫の『天文書』（『天経或問』写本）</p>
9:40		<p>633 古賀勇人（マンチェスター大・院）：スケール論争再考</p>
10:00	<p>〈海外地域研究〉</p> <p>534 雨森直也（大理大）：少数民族出身大卒者の就業傾向とその特徴—雲南省鶴慶県のペー族村落の事例</p>	<p>634 松永光平（立命館大）：<i>φύσις</i> と <i>natura</i> の意味に基づく自然地理学と自然の地理学の関係の再考</p>
10:20	<p>535 田部俊充（日本女子大）：ニューヨーク市ブルックリン西部における再開発とグリーンジェントリフィケーション</p>	<p>〈観光〉</p> <p>635 鈴木修斗（東海大）：2000年代以降の長野県軽井沢町における新興別荘地区の発展メカニズム—追分地区の事例を中心として</p>
10:40	<p>536 二村太郎（同志社大）：COVID-19以降のデトロイトにおける都市農業の展開</p>	<p>636 綱川雄大（明治大・院）：非都市部型観光地における宿泊業就業者の就業理由とその様態—長野県軽井沢町の事例</p>
11:00	<p>537 宅間雅哉（東京未来大）：イングランドの気候地名Cold Blow</p>	<p>637 古川智史（松本大）ほか：鹿教湯温泉における土地利用の変化</p>
11:20	<p>538 手代木功基*（金沢大）・佐藤廉也（大阪大）：衛星画像解析による熱帯林の焼畑と植生動態の把握—エチオピア南西部の事例</p>	<p>638 助重雄久（富山国際大）：「国立公園満喫プロジェクト」による弟子屈町川湯温泉の再生とその課題</p>
11:40	<p>539 高橋輝行（ヒマラヤ保全協会）：山岳地域における森林と子供の食料摂取との関係性—南アジアを事例とした傾向スコア法による検討</p>	<p>639 村越貴光（駒澤大・院）：コンテンツツーリズムの持続性—静岡県沼津市を事例に</p>
12:00	<p>昼 休 み</p>	

第2日目 9月15日（日） 午後

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
シンポジウム 3	シンポジウム 4	13:00
高度成長期中国における 国家スケールの空間構造変化	現代的な地方自治の課題に対する 地理的枠組みの探究—ローカル・ガバ ナンスにおける地域とは何か?—	13:20
〔オーガナイザー〕 小島泰雄（京都大）	〔オーガナイザー〕 佐藤正志（静岡大）・ 前田洋介（新潟大）・美谷 薫（大分大）・ 畠山輝雄（鳴門教育大）	13:40
開始時刻 13:00	開始時刻 13:00	13:40
〔趣旨説明〕 13:00～13:20	〔趣旨説明〕 13:00～13:10	14:00
S301 小島泰雄（京都大）：高度成長期中国 における農村人口の減少とその問題化	S401 佐藤正志（静岡大）ほか：現代的な地 方自治の課題に対する地理的枠組みの 探究—ローカル・ガバナンスにおける 地域とは何か？	14:20
S302 13:20～13:35 張 貴民（愛媛大）：高度経済成長期 における中国農村空間の変容—農民工 の空間的移動を例として	S402 13:10～13:27 久井情在（国立社会保障・人口問題 研）：県と市町村の間の地理的中間ス ケールに設置された移住相談窓口の役 割—兵庫県の西播磨・但馬・淡路地域 を事例に	14:40
S303 13:35～13:50 宋 弘揚（梅光学院大）：高度成長期 中国における労働力送り出しの特徴と 変化	S403 13:28～13:45 栗島英明（芝浦工業大）：一般廃棄物処 理および気候変動施策における地理的 枠組み	15:00
S304 13:50～14:05 杜 国慶（立教大）：観光者数の変化 にみる中国の観光発展と空間構造	S404 13:46～14:03 美谷 薫（大分大）：水道事業の再編 にみるローカル・ガバナンスの変化	15:20
〔休憩〕 14:05～14:10	〔休憩〕 14:05～14:10	15:40
S305 14:10～14:25 小野寺 淳（横浜市立大）：中国における都 市形成の地域的差異—土地権利譲渡に 注目して	S405 14:04～14:21 杉浦真一郎（名城大）：平成30年度改 革による市町村国保の都道府県単位化	16:00
S306 14:25～14:40 阿部康久（九州大）：世界金融危機以 降の住宅価格の高騰と「高度成長」の 実態	S406 14:22～14:39 前田洋介（新潟大）：市町村合併後のコミュ ニティ・ガバナンスの仕組みの空間構造	16:20
S307 14:40～14:55 柴田陽一（愛知県立大）：高度成長期 中国における教育の地域間格差	S407 14:40～14:57 佐藤正志（静岡大）：合併自治体のス ポーツ運営における地理的枠組みの形 成—総合型地域スポーツクラブと地方 自治体の活動と相互関係から	16:40
S308 14:55～15:10 王 子豪*（立命館大・院）・夏目宗幸（徳島 大）：中国における地級行政区画の境界 データ作成—2000年代への遡及方法の検 討	S408 14:58～15:15 畠山輝雄（鳴門教育大）：小規模市町 村における地域包括ケアシステムの広 域連携とマルチレベル・ガバナンス	17:00
〔休憩〕 15:10～15:20	〔コメント〕 15:15～15:35	17:00
〔総合討論〕 15:20～16:00	豊田哲也（徳島大） 森 裕亮（青山学院大）	17:00
終了時刻 16:00	〔休憩〕 15:35～15:50 〔総合討論〕 15:50～16:30 〔司会〕 梶田 真（東京大）	17:00
終了時刻 16:00	終了時刻 16:30	17:00

第2日目 9月15日（日） 午後

開始時刻	第 3 会 場	第 4 会 場
13:00		
13:20	13:00～14:00 ポスター発表者による説明	
13:40		
14:00	〈植生〉 344 濱 侃（千葉大）ほか：森林限界付近の植生調査におけるUAVリモートセンシングの活用	〈農業・農村〉 444 高柳長直（東京農業大）：日本の農業地理学百年史
14:20	345 吉田圭一郎（都立大）ほか：利尻山の溶岩流地形に対応した植生分布とその形成プロセス	445 川久保篤志（東洋大）：2024年オレンジ果汁価格高騰とみかん果汁産業に及ぼす影響
14:40	346 山崎悠太（都立大・院）：コスラエ島・オマ山の東斜面における熱帯山地雲霧林の分布と立地環境	446 河本大地*（奈良教育大）・東 晃太郎（奈良教育大・学）：へき地教育に対する地理学的アプローチの課題と可能性
15:00	347 江口誠一（日本大）ほか：武蔵野台地上の東京都四谷一丁目南遺跡から得られた過去の植生景観	447 多田忠義*（農林水産政策研）・林 宇一（宇都宮大）：林業経営体の参入・退出に関する地域差の評価
15:20	348 尾留川侑里（国際航業）ほか：半乾燥草原地帯における植生を指標とした井戸掘削地点絞り込み手法の開発	448 池谷和信（国立民族学博物館）：焼畑からみた山村の地域振興について—熊本県五木村の事例（2019—2024）
15:40		449 川上 香（総合研究大学院大・学振DC）：現代の山村における自給的農耕の持続とその要因—静岡市井川地域の事例
16:00		
16:20		
16:40		
17:00		

第1・2日目 9月14・15日 (土・日)

開始時刻

ポスター発表

ポスター発表は、9月14日(土)9時～18時までと9月15日(日)9時～16時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、9月14日(土)17時～18時もしくは9月15日(日)13時～14時の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P001	Lu, Xue-Min (National Center for Research on Earthquake Engineering) et al.: An introduction of web GIS applications for identifying site-specific seismic design spectra in Taiwan	P011	伊藤修一(帝京大): 都道府県別にみた男女別大学進学率の推移
P002	久保俊輔*(県立広島大・学)・富田哲治(県立広島大): GISデータを利用した土地利用による湖岸線の経時変化への影響分析—マダガスカルのイタジー湖を事例に	P012	高橋環太郎(秋田大): 居住地と従業地・通学地の人口流動からみる秋田県の地域区分
P003	中野仁敬(県立広島大・学)ほか: 避難所への道路距離および移動時間に基づくアクセシビリティの評価—浜松市を対象としたケーススタディ	P013	埴淵知哉(京大): 手描き世界地図における記載内容の規定要因
P004	金 曙妍(県立広島大・院)ほか: 移動経路の水害リスクを考慮した避難時間ハザードマップの活用可能性	P014	中岡裕章(日本大)ほか: 東京圏と大阪圏居住者の日本の国立公園に対する認識と需要
P005	駒木伸比古(愛知大)ほか: インドネシア東部におけるアグロフォレストリー「 <i>dusun</i> 」の実態把握に向けた作物データベースと地形モデルの作成	P015	村山 徹(名古屋経済大): トレッキングコース整備にみる越境観光振興
P006	両角政彦(都留文科大): 沖永良部島の社会経済と農業構造—和泊町と知名町	P016	武田ひかる(横浜市立大・院): 長崎市におけるまちなか観光の展開
P007	岩井愛彩(都留文科大・院): 6次産業事業体の類型化と事業展開における課題	P017	野中健一(立教大): ジオラマ地理学のすすめ1—今こそ解放、そして新たな地理学の構築へ
P008	清水和明(神奈川大)ほか: 大都市近郊の市街化調整区域における農と住の関係—横浜市を事例に	P018	海津正倫(名古屋大・名誉): ジオラマ地理学のすすめ2—原風景ジオラマで過去の地域を再認識する
P009	林 琢也(北海道大): 郡上市和良町にみる移住者の真摯な実践が周囲に及ぼす効果	P019	岩田修二(都立大・名誉): ジオラマ地理学のすすめ3—1950年代の神戸を例に
P010	植松尚太(佐賀大・学)ほか: 佐賀県における地域おこし協力隊員のライフパス分析	P020	三原昌巳(跡見学園女子大): 高尾山の立体模型制作の授業実践から考えるジオラマの地理学

第1・2日目 9月14・15日 (土・日)

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、9月14日(土)9時～18時までと9月15日(日)9時～16時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、9月14日(土)17時～18時もしくは9月15日(日)13時～14時の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- | | | | |
|------|--|------|--|
| P021 | 山口太郎(神奈川大)：大学共通教養科目における「ワンポイント巡検」の実践と課題—体験型研修【横浜まち歩き】を事例として | P031 | 大和広明(埼玉県環境科学国際センター)：埼玉県内における熱中症リスクの地域性—暑さ指数の観測結果から考える熱中症対策 |
| P022 | 永迫俊郎(鹿児島大)：井之川夏目踊りと山宮神社の春祭りにみる正月祭祀の原初的意義と現代の変容 | P032 | 神田三冬*(専修大・学)・赤坂郁美(専修大)：埼玉県熊谷市における夏季の気温の日変化特性 |
| P023 | 赤坂郁美*(専修大)・羽田麻美(琉球大)：沖永良部島における降水特性とその変化 | P033 | 平野勇二郎(国立環境研)ほか：都市緑化による熱環境緩和と冷房削減効果のシミュレーション |
| P024 | 長谷川直子(お茶の水女子大)ほか：諏訪湖の結氷・御神渡り記録の出典付データベース | P034 | 岡田将誌(国立環境研)ほか：生活用水の気温環境応答特性の地域分布 |
| P025 | 新田 啓(お茶の水女子大・院)ほか：日本における春に開花する木本植物と近年の気候変動との関係について—ウメ、サクラ、ツバキを事例に | P035 | 尾花拓海*(法政大・学)・小寺浩二(法政大)：岩手県須川温泉における温泉藻について |
| P026 | 杉村飛龍*(専修大・学)・赤坂郁美(専修大)：大規模茶畑における夏季日中のクールアイランド効果—静岡県島田市南部、牧之原台地を対象に | P036 | 猪狩彬寛*(法政大・院)・小寺浩二(法政大)：現地水質測定結果を主とした吾妻川流域の水環境概況 |
| P027 | 浜田 崇(長野県環境保全研)ほか：長野県における果樹晩霜害発生時の気象状況 | P037 | 乙幡正喜(法政大・院)・小寺浩二(法政大)：新河岸川流域の河川水質の変化とその要因について |
| P028 | 上野一喜*・太田俊二(早稲田大)：明治期の樹木畑の分布に基づく冷気湖の発生場所の推定 | P038 | 小永吉温志*(法政大・学)・小寺浩二(法政大)：淡路島の水環境に関する水文地理学的研究(1) |
| P029 | 千葉 晃(杉並区立東原中)：消雪パイプの地理的分布について—最西端・最北端埋設県特定への試み | P039 | 長田強志*(日本大・院)・森島 済(日本大)：鬼怒川源流域における針広混交林の林分構造と斜面方位との関係 |
| P030 | 飯沼日菜子*(日本大・院)・森島 済(日本大)：佐渡島大佐渡山地における霧水の量的観測 | P040 | 田中耕市(青山学院大)：ポイント型人流データに基づく令和6年能登半島地震における被災者の行動分析 |

第1・2日目 9月14・15日（土・日）

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、9月14日（土）9時～18時までと9月15日（日）9時～16時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、9月14日（土）17時～18時もしくは9月15日（日）13時～14時の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- | | |
|--|---|
| P041 鈴木比奈子（専修大）ほか：2024年能登半島地震アーカイブにおける災害情報の空間的な偏りとその問題点 | P051 三品陽香（総合研究大学院大・院）ほか：立山火山室堂山付近のロッシュムトネと擦痕から推定する立山亜氷期における氷河発達 |
| P042 青山雅史（群馬大）：2024年能登半島地震による高岡市伏木地区液状化発生域の土地履歴 | P052 山縣耕太郎（上越教育大）：新潟県マイコミ平千里洞ドリーネにおける温度逆転の形成過程 |
| P043 南雲直子（土木研）ほか：ルソン島中部の洪水常襲地帯における集落の立地形態 | |
| P044 田力正好*（地震予知総合研究振興会）・越後智雄（環境地質）：十勝平野断層帯北方延長部、陸別町付近の断層変位地形 | |
| P045 小松原 琢（産総研）ほか：伊勢湾沿岸域の活構造—最終間氷期海成泥層上面を基準とする傾動運動認定と断層活動度評価 | |
| P046 内藤了二（国土技術政策総合研）ほか：港湾域における堆積物標本試料を用いた鉛直分布特性の考察 | |
| P047 堀 和明（東北大）ほか：浜堤平野の前進と海水準変動 | |
| P048 張 翰寧（筑波大・院）：利根川と烏川の合流部における砂州の挙動解明に関する数値計算 | |
| P049 島津 弘（立正大）：屋久島における河口・海岸に分布する巨大花崗岩岩塊の起源と移動プロセス | |
| P050 當麻央介*（名古屋大・院）・齋藤 仁（名古屋大）：深層崩壊の地形特徴量の予察的解析—高知県東部を事例に | |